

Title	伝聞の情報源を表す「では」について：「Nでは～そうだ」の使い方を中心に
Sub Title	
Author	石野, 由梨子(Ishino, Yuriko)
Publisher	慶應義塾大学日本語・ 日本文化教育センター
Publication year	2025
Jtitle	日本語と日本語教育 No.53 (2025. 3) ,p.57- 73
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	調査報告
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00189695-20250300-0057

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

伝聞の情報源を表す「では」について

— 「Nでは～そうだ」の使い方を中心に—

石 野 由梨子

1. 本稿の目的

初級レベル後半の日本語の重要な教授項目の一つとして、伝聞をあらわす助動詞「そうだ」が挙げられる。伝聞の「そうだ」を教える際、通常、各品詞の終止形に接続するという説明とともに、情報源を表す表現を教える。例えば、初級後半レベルの教科書である『初級日本語 新装改訂版（下）』（以下、『初級日本語（下）』）の第26課文型1で提示される例文には「～によると」と「～では」の二通りの表現が登場する。

- (1) ニュースによると、未成年者の交通事故が増えてきたそうです。
- (2) 山田さんの説明では、このごろの若い人たちは一人で和服が着られないそうです。
- (3) 統計によると、最近、男性の人口は女性の人口より多いそうです。
- (4) 母の手紙によると、今、父の仕事はあまり忙しくないそうです。
- (5) 新聞によると、去年、海外旅行をした人は全国で約一千万人だそうです。
- (6) 田中さんの話では、あの学生は、あまりまじめではないそうです。

（『初級日本語（下）』 p.129）

また、同様に初級後半レベルの教科書である『大学の日本語初級 とも

だち Vol. 2』(以下、『ともだち Vol. 2』)では、第23 課文型4で伝聞「そう
だ」が扱われる。この教科書の例文でも、情報源を表す表現として「～に
よると」と「～では」が使用されている。

(7) ニュースによると、せきゆのねだんが上がるそうです。

(8) キムさんの話では、韓国は今とても寒いそうです。

(『ともだち Vol. 2』 p.192)

ここで学習者にとって問題となるのは、両者の使い分けであろう。『と
もだち Vol. 2』の文法解説では、以下のように説明されている。(以下引用)

N によると and N では indicate the source of information. Note that ～では
does not directly follow a person.

× 田中さんでは、～そうです。

○ 田中さんによると、～そうです。

○ 田中さんの話では、～そうです。

(『ともだち Vol. 2』 p.192)

この説明によると両者の違いは、「～では」は人名の後では使用できな
いという点のみである。そのため、この説明を読んだ学習者は、人名以外
の名词であれば「によると」と「では」のどちらを使用しても問題ないと
理解するだろう。そこで、先ほど紹介した『初級日本語』の例文の「によ
ると」を「では」に置き換えると、以下ようになる。

(1)' ニュースでは、未成年者の交通事故が増えてきたそうです。

(3)' 統計では、最近、男性の人口は女性の人口より多いそうです。

(4)' 母の手紙では、今、父の仕事はあまり忙しくないそうです。

- (5) 新聞では、去年、海外旅行をした人は全国で約一千万人だそうです。

母語話者の間でも意見が分かれるとは思いますが、個人的な感覚では文の自然さに差があるように思われ、特に (5) 'などは「によると」の方が自然であると感じる。その場合、「では」は人名以外に使用可能という説明だけでは十分ではないということになる。そこで、本稿では、以下の2点を目的として調査を行う。

- ① 伝聞の情報源を表す「Nでは」は、名詞によって使用状況に差があるのか、明らかにする。
- ② ①の結果をもとに、学習者が「Nでは」を情報源とする伝聞「そうだ」の自然な文が産出できるようにする。

2. 初級教科書での伝聞「そうだ」の情報源の表し方

第1節では、『初級日本語（下）』および『ともだち Vol. 2』の用例を紹介したが、本節では、他の初級の教科書では、伝聞「そうだ」の情報源としてどのようなものが扱われているのを見る。

まず、『新文化初級日本語Ⅰ』では、伝聞「そうだ」で提示される三つの例文のうち情報源を表す表現を伴うものは、以下の「によると」の一文だけである¹。

- (9) ラジオのニュースによると、昨日大阪のデパートで火事があったそうです。

情報源を表す表現について、同教科書の教師用解説書では、以下のよう
に記載されている。(以下引用)

情報源がある場合は、特定の個人の話の内容を伝える場合と、それ以外のテレビ、新聞など何等かの媒体からの情報を得た内容を伝える場合に分けて学習する。また、情報源を表す表現としては「によると」を取り上げたが、この他に「(人)の話では」という表現も紹介する。
(『新文化初級日本語Ⅰ 教師用指導手引き書』p.139)

この教科書の方針としては、特定の個人の話の内容を伝える場合には「[特定の個人]の話では」という形で「では」を使用するが、他の媒体から得た情報については、「では」は用いず、「によると」を用いることになっている。この教科書では伝聞「そうだ」が初級前半レベル²で扱われるため、レベルに合わせて導入する表現を限定しているのかもしれないが、初級レベルで伝聞の情報源を表す「では」を扱う際は、この教科書のように、「(人)の話では」に限った方が良いのだろうか。

一方、『みんなの日本語初級Ⅱ第2版 本冊』では、伝聞「そうだ」³の情報源を表す表現として「～によると」と「～んですが(新聞で読んだんですが)⁴」を扱い、「～では」は扱わない。同教科書の教師用解説書では、以下のように説明している。

情報源の言い表し方は二つあり、「～んですが」は会話でよく使われ、「～によると」は説明をするときなど、少し改まった場面で使われることを説明する。

(『みんなの日本語初級Ⅱ第2版 教え方の手引き』p.181)

このように、初級の教科書では、伝聞「そうだ」の情報源を表す言い方として基本的に「～によると」は扱うが、「では」については「～の話では」の形に限定するか、扱わない場合もある。

対象者を初級レベルに限定しない場合、どのような例文が提示されるのだろうか。『日本語文型辞典 改訂版』では、伝聞「そうだ」の項目⁵に以下のような例文がある。

- (10) 新聞によると今年は交通事故の死者が激増しているそうだ。
- (11) 担当者の話によると新製品の開発に成功したそうだ。
- (12) 報道ではこの道はもう通行可能だそうだ。
- (13) 予報では台風は今夜半に紀伊半島に上陸するそうだ。
- (14) パンフレットによるとこの寺は千二百年前に建てられたのだそうだ。

(『日本語文型辞典 改訂版』 pp. 146–147)

確かに、「によると」で使用される名詞に比べ、「では」で使用される「報道」や「予報」は、初級後半レベルにしてはやや難しい印象を受ける。

では、情報源を表す「によると」と「では」は、どのような差があるのだろうか。市川（2018）は、言語情報の情報源として使用される「～によると」「～では」「～は」「～で」「噂では」を比較し、「情報源の表現としては、「～によると」が形式的で、固い印象を与える。他の「～では」「～は」「～で」は話し言葉的で柔らかい表現である」⁶と説明している。また、情報源の表現について「文末の表現と釣り合いをもたせることも重要である」⁷としている。つまり、使用される名詞だけでなく、文末で 사용되는伝聞表現によっても、「Nでは」の使用されやすさが異なるということになる。これらの内容を踏まえると、まず、次の2点を明らかにする必要があると思われる。

- ①「では」とともに用いられやすい情報源の名詞
- ②「Nでは」とともに使用されやすい伝聞表現

次節ではコーパスを使用してこれらの点について調べる。

3. コーパスによる調査

本節では、『現代日本語書き言葉均衡コーパス BCCWJ』を使用し、情報源をあらわす「N では+伝聞表現」が、どのように使用されているのか調査を行う。

3.1 調査方法

第2節で記載した通り、本調査では

- ①「では」とともに用いられやすい情報源の名詞
- ②「Nでは」とともに使用されやすい伝聞表現

を明らかにする。

まず、①については『初級日本語（下）』および『ともだち Vol. 2』の伝聞「そうだ」の例文および練習問題で情報源として登場する以下の11の語彙を対象とした。参考として、市川（2018）で情報源を特定しない場合に用いるとされる「噂では」も調査対象に加え、計12語について調査した。

対象となる語：ニュース、説明、統計、手紙、新聞、話、本、資料
天気予報、発表、メール、噂

検索条件は「キー」に上記の語彙を入れ、後方共起条件として「で」と「は」を指定した。「説明」「手紙」「話」「本」「発表」「メール」については、教科書の例に合わせて前方共起条件に「の」を指定した。これは、例えば「本では」の検索結果に「日本では」など、調査対象以外の例が含まれるのを防ぐためでもある。それぞれ得られた結果から「ではない⁸」など検索対象ではないものを手作業で除き、各用例から伝聞表現を伴うものを抜き出した。

次に、②の伝聞表現として扱う表現は、主に市川（2018）で伝聞の表現

として挙げられる以下のものを対象としたが、他にも伝聞表現と考えられるものを含めた⁹。

伝聞表現：～そうだ、～らしい、～と/って言っていた¹⁰

～と/って聞いた¹¹、～ということだ、～とのことだ

～みたいだ、～って、～という

その結果、伝聞表現を伴う情報源の「Nでは」の名詞は、用例数の多い順に以下の通りとなった。() 内の数字は「そうだ」を伴う用例数である。

表1 伝聞表現を伴う情報源の「Nでは」の用例数一覧

① ～の話	265 例 (47 例)	⑦ ～の発表	3 例 (1 例)
② 噂	47 例 (4 例)	メール	3 例 (—)
③ ～の説明	33 例 (4 例)	⑨ ～の手紙	2 例 (1 例)
④ 天気予報	13 例 (—)	統計	2 例 (2 例)
⑤ ニュース	11 例 (1 例)	⑪ 新聞	1 例 (—)
⑥ 資料	6 例 (—)	⑫ 本	0 例 (—)

3.2 各用例の内訳

ここでは、調査の結果得られた「Nでは+伝聞表現」がどのような伝聞表現と共起しているか、名詞ごとに詳しく見ていく。

最も多かったのは、「～の話」の 265 例¹²であり、「～の話では」と共起する伝聞表現の内訳は多い順に以下の通りである。

表2 「～の話では」と共起する伝聞表現

① という	90 例
② そうだ	47 例
③ ということだ	41 例
④ らしい	30 例
⑤ とのことだ	19 例
⑥ と/って言っていた	各 9 例
とか	
⑧ とのこと	6 例
⑨ って	各 3 例
と	
その他 ¹³ （各 2 例以下）	8 例

「という」が最も多く、次いで「そうだ」「ということだ」「らしい」「とのことだ」が続く。用例数が多く、2 番目に多い「噂では」と比べても 5 倍以上の例があるため、どの伝聞表現の用例数も多くなっているが、「そうだ」の使用例も比較的多いと言える。

次に 2 番目に多い「噂では」は 47 例¹⁴あり、共起する伝聞表現は以下の通りである。

表3 「噂では」と共起する伝聞表現

① らしい	10 例
② とか	7 例
③ と/とか聞いた	6 例
④ という	各 5 例
ということだ	
⑥ そうだ	各 4 例
とのことだ	
その他 ¹⁵ （各 2 例以下）	6 例

「噂では」は「らしい」との共起が多い。また、曖昧さを表すためか「と」のかわりに「とか」が用いられる例が多い。用例数の割には「そうだ」の使用は少ないと言える。

3 番目に多いのは、「～の説明では」の 33 例¹⁶である。共起する伝聞表現は以下の通りである。

表 4 「～の説明では」と共起する伝聞表現

① という	各 5 例
ということだ	
と言っていた	
④ そうだ	各 4 例
とのことだ	
という話だ	
その他（各 2 例以下） ¹⁷	6 例

「～の話では」「噂では」とは異なり、「って」や「とか」と言った口語的な表現がやや少ないのが特徴かもしれない。

4 番目に多い「天気予報では」（全 13 例¹⁸）と 5 番目に多い「ニュースでは」（全 11 例¹⁹）で共起する伝聞表現は以下の通りである。数が少ないため表中にはないが、「ニュースでは」には「そうだ」が 1 件あった。

表 5 「天気予報では」「ニュースでは」と共起する伝聞表現

天気予報では		ニュースでは	
① と/とか言っていた	5 例	① と/とか/って言っていた	5 例
② らしい	3 例	② とのことだ との/という話だ	各 2 例
③ という	2 例		
その他	3 例 ²⁰	その他	2 例 ²¹

6 番目以降は用例数が少ないため、表は作成せずに内訳のみ簡単に記載する。「」の後の（）は用例数を表す。）

- ⑥「資料」全 6 例²²：「という」(3)「と聞いた」(2)「ということだ」(1)
- ⑦「の発表」全 3 例²³：「そうだ」「とのことだ」「と言っていた」(各 1)
「のメール」全 3 例²⁴：「という」「と言っていた」「とか」(各 1)
- ⑧「の手紙」全 2 例²⁵：「そうだ」「と言っていた」(各 1)
「統計」全 2 例²⁶：「そうだ」(2)
- ⑩「新聞」全 1 例²⁷：「という」(1)
- ⑫「の本」全 0 例²⁸

「統計では」は伝聞表現を伴う用例数は少ないものの 2 例とも「そうだ」という形で用いられている。

ここまで、本節の目的①「『では』とともに用いられやすい情報源の名詞」に重点を置いて調査結果を見た。その結果、「では」とともに用いられやすい情報源の名詞は、「～の話」「噂」「～の説明」であるが、「～の話では」の使用例が圧倒的に多いことがわかった。

3.3 「では」とともに使用されやすい伝聞表現

次に、目的②「『では』とともに使用されやすい伝聞表現」に重点を置いて調査結果を見てみたい。今までの調査結果を、用例数の多い伝聞表現順にまとめると、表 6 のようになる。用例数の多い「～の話では」の結果が占める割合が大きいため、一番右に「～の話では」の例を除いた数も記載した。

表6 「では」とともに使用されている伝聞表現

「N では」とともに使用されている 伝聞表現	「の話」含む	「の話」以外
① という	107 例	17 例
② そうだ	60 例	13 例
③ ということだ	56 例	15 例
④ らしい	44 例	14 例
⑤ とのことだ	31 例	12 例
⑥ と言っていた	28 例	19 例
⑦ とか	17 例	8 例
⑧ と聞いた	13 例	11 例
⑨ とのこと	各 7 例	1 例
って		4 例

「～の話」を含むと、「という」が最も多いが、「～の話」を除くと、「と言っていた」が最も多くなる。「そうだ」は「～の話では」を含む場合 2 番目に多く、「～の話」を含まない場合も、他の表現と比べて特に少ないとすることはないのである。

3.4 第3節まとめ

本節では、以下の2点を明らかにすることを目的として調査を行った。

- ①「では」とともに用いられやすい情報源の名詞
- ②「では」とともに使用されやすい伝聞表現

本節の調査結果から言えることは、

- ①「では」とともに用いられやすい情報源の名詞は、「～の話」「噂」

「～の説明」であるが、圧倒的に多いのは「～の話では」である。

- ②「では」とともによく使用される伝聞表現は「という」「そうだ」「ということだ」などであり、「そうだ」は比較的よく使われる。

ということになる。①の名詞についてももう少し考えてみると、この3つに共通するのは、「人の発話」²⁹であるという点である。伝聞の情報源「では」が「(人の発話を表す名詞)では」の形で使用されることが多いと考えられると、アナウンサーの発話という形で伝えられることの多い「天気予報」や「ニュース」の例がある程度見られ、「新聞」や「本」の例が非常に少なかったことも理解できる。また、「メール」や「手紙」は、「(人名)の～」という形であれば、人の発話に近くなるように感じる。ただ、「～の話」「噂」「～説明」以外の名詞では、もともと伝聞表現と共起する頻度が少ない上に、伝聞表現と共起する場合も「という」「ということだ」など「そうだ」以外の表現が使用されることが多いため、「～では・・・そうだ」の形で使用すると、母語話者によっては聞き慣れないと感じるのかもしれない。

4. 「そうだ」とともに用いられやすい情報源をあらわす表現

前節まで、情報源を表す「では」とともに使用される名詞や伝聞表現について調査した。その結果、情報源を表す「Nでは」を伴う伝聞表現として、「そうだ」は2番目（「～の話では」を除くと5番目）に多いことが分かった。では、伝聞「そうだ」の文中に現れる情報源としては、「～では」はどの程度の割合を占めるのだろうか。第2節でみた通り、伝聞「そうだ」を教える際、情報源をあらわす言い方として「～によると」「～んですが」を扱い、「～では」は扱わない教科書もあるが、実際の使用頻度はどうなのだろうか。本節では、「そうだ」とともに共起する情報源を表す言い方に着目し、調査を行う。

4.1 調査方法

本調査も『現代日本語書き言葉均衡コーパス BCCWJ』を使用して行った。「キー」に語彙素「そう」を入力、品詞小分類として「名詞―助動詞語幹」を選択し、伝聞「そうだ」の用例を検索した。検索結果が全 15,926 件と多数であったため、無作為に抽出した 500 例を調査対象とした。「そうだ」の文中に情報源を表す表現があるものを手作業で取り出し、各表現の用例数をまとめた。

4.2 調査結果

伝聞「そうだ」500 例中、情報源を伴うものは 30 件あった。内訳は表 7 の通りである。

表 7 伝聞「そうだ」とともに使用されている情報源の表し方

① ～では	各 7 例
～によると	
③ ～によれば	5 例
④ ～から聞いたのですが（聞いた話ですが）	3 例
⑤ ～だと（～の話だと）、～で（ニュースで）、～曰く ～が申すには、～に問い合わせたところ、～を見ると、 ～に載っていたんですが、～を読んでいたら、	各 1 例

最も多いのは「～では」と「～によると」の 7 例であり、次いで「～によれば」が 5 例ある。情報源となる名詞の内訳は、表 8 の通りである。

表 8 伝聞「そうだ」の情報源となる名詞

～では（全 7 例）	～の話（3 例）、発表、調査、ニュース、 聞いたところ ³⁰ （各 1 例）
～によると（全 7 例）	～の話（4 例）、人名、資料、逆探知（各 1 例）
～によれば（全 5 例）	人名（3 例）、本、説明書（各 1 例）

「～では」の7例中では、「～の話」の3例が最も多く、「発表」「調査」「ニュース」「聞いたところ」が各1例ずつあった。「～によると」の7例中でも、「～の話」が4例と最も多く、残りの3例は「資料」や人名であった。「～によれば」の5例中は、人名が3例と最も多かった。

4.3 第4節まとめ

本節では、伝聞「そうだ」と共起する情報源を表す言い方について調査した。そもそも伝聞「そうだ」の文中で情報源を示す例自体があまり多くなかったが、「～によると」と「～によれば」を同じグループにまとめると12例と最多になるため、伝聞「そうだ」の情報源としては「～によると／よれば」が多いということになる。ただ、「～では」も7例あり、比較的よく使われる傾向があるため、伝聞「そうだ」を教える際には、情報源をあらわす言い方として「では」も教えた方が良いと思われる。ここまでの結果を踏まえ、次節では「～では・・・そうだ」という文の指導法について検討したい。

5. 指導方法試案

第1節で述べた通り、本稿の目的は、以下の2点である。

- ① 伝聞の情報源を表す「Nでは」には、名詞によって使用状況の差があるのか、明らかにする。
- ② ①の結果をもとに、学習者が「Nでは」を情報源とする伝聞「そうだ」の自然な文が産出できるようにする。

①については、3節での調査の結果、「～の話」「噂」「～の説明」といった「人の発話」に関する名詞がよく使われることがわかった。この点を踏まえ、本節では、目的②について検討する。

情報源を表す「～では」としては、「～の話では」が最も多いため、2節

で紹介した『新文化初級日本語Ⅰ』のように「～の話では」の形のみ教えるという方法もある。しかし、4節でみたとおり、「～では」は伝聞「そうだ」の情報源としては比較的よく使われるため、「～の話では」に限らない方が学習者にとって役立つはずである。だが、『ともだち Vo.2』の説明にあるような「人名以外の名詞に使用可能」という教え方は、学習者が母語話者にとって聞き慣れない文を産出してしまう可能性が高いため、以下のような補足が必要であろう。

N では	「～の話」「～の説明」「～の発表」（「天気予報」「ニュース」） → 主に「人の発話」をあらわす名詞
N によると	（上記の名詞を含めた）情報源を表す名詞全般

まず、「～の話では、・・・そうだ」の文を紹介し、伝聞の情報源として「によると」のほかに「では」も使用できることを説明する。その際、「では」は、主に「～話では」での形で使用するが、人が話したことを表す名詞である「説明」「発表」などにも使用すると説明すれば良いだろう。「発表」を入れたのは、「人の発話」という共通点を理解しやすくするためである。ここに「天気予報」と「ニュース」を含め、少し範囲を広げても良いかもしれない。「噂では」もよく使われる形であるが、「そうだ」より「らしい」と共起することが多く、語彙自体もやや難しいため、「らしい」の学習時に語彙と共に導入するのが良さそうである。上記以外の語彙については、中級レベル以降の学習で他の伝聞表現を習得し、多様な用例に触れる中で自然な使い方が習得できるだろう。初めて伝聞表現を習う初級後半レベルでは、自然な文を産出するという目的を重視し、「では」とともに扱う語彙を限定することも有益であると考える。

6. まとめと展望

本稿では、伝聞の助動詞「そうだ」と情報源を表す「Nでは」の使用について、コーパスの用例調査を通して検討した。その結果、伝聞の情報源「～では」の使用頻度は名詞によって大きく差があり、文の自然さに関係していることがわかった。また、「～では」とともに使用される伝聞表現も多様であり、語彙によっては「そうだ」が使用される例が少ない場合もあるため、本稿では、「～では・・そうだ」という形式を教える際に「では」とともに使用する名詞を使用頻度の高いものに限定することを提案した。今回は、「～では・・そうだ」を中心に調査したが、今後は情報源を表す「では」と「によると」の違いについても検討していきたい。

注

- 1 他の二例はどちらも会話形式で、それぞれ「韓国の冬は寒いそうですね」「(新しいレストランについて) 魚がとても新鮮でおいしいですよ」というものである。
- 2 このシリーズでは、『新文化初級日本語Ⅰ』が初級前半、『新文化初級日本語Ⅱ』が初級後半の学習ということになっている。
- 3 第47課文型1で伝聞「そうだ」を扱う。
- 4 ほかに「天気予報を見たんですが」「～さんに聞いたんですが」など。
- 5 『日本語文型辞典 改訂版』では、伝聞を表す「そうだ₁」と様態と表すそうだ「そうだ₂」に分けて記載している。
- 6 市川(2018) p.56 より引用。
- 7 同上
- 8 「ではない」「ではなく」「ではありません」「ではあるが」など。
- 9 「～と」「～とやら」「～由」など。
- 10 「～と言っている」「～と言った」などを含む。
- 11 「～と聞いている」「～と聞かされた」「～とか聞いた」などを含む。
- 12 コーパスの全検索結果 538 例から「ではない」などを除いた 378 例中、伝聞表現を伴うものは 265 例であった。
- 13 「と聞いている」「ってことだ」「っていう」「由」など。
- 14 コーパスの全検索結果 79 例から「ではない」などを除いた 75 例中、伝聞表現を伴うものは 47 例であった。
- 15 「とのこと」「って」「とやら」など。
- 16 コーパスの全検索結果 87 例から「ではない」などを除いた 84 例中、伝聞表現を伴うものは 33 例であった。
- 17 「って」「と聞いている」「らしい」など。
- 18 コーパスの全検索結果 39 例から「ではない」などを除いた 38 例中、伝聞表現を伴うもの

- は 13 例であった。
- 19 コーパスの全検索結果 59 例から「ではない」などを除いた 50 例中、伝聞表現を伴うものは 11 例であった。
- 20 「ということだ」「とのことだ」「って」各 1 例
- 21 「そうだ」「ということだ」各 1 例
- 22 コーパスの全検索結果 68 例から「ではない」などを除いた 56 例中、伝聞表現を伴うものは 6 例であった。
- 23 コーパスの全検索結果 25 例から「ではない」などを除いた 24 例中、伝聞表現を伴うものは 3 例であった。
- 24 コーパスの全検索結果 15 例から「ではない」などを除いた 11 例中、伝聞表現を伴うものは 3 例であった。
- 25 コーパスの全検索結果 39 例から「ではない」などを除いた 34 例中、伝聞表現を伴うものは 2 例であった。
- 26 コーパスの全検索結果 60 例から「ではない」などを除いた 59 例中、伝聞表現を伴うものは 2 例であった。
- 27 コーパスの全検索結果 84 例から「ではない」などを除いた 81 例中、伝聞表現を伴うものは 1 例であった。
- 28 コーパスの全検索結果 222 例から「ではない」などを除いた 160 例中、伝聞表現を伴うものは 0 例であった。
- 29 「～の説明」は、人の発話内容以外の可能性もあるが、3 節での調査では、「N の説明」の N は、33 例中 23 例が人名または人のグループを表す名詞（会社、病院など）であり、「先ほどの説明」のような時間を表すものを入れると、33 例中 31 例が人の発話であることが読みとれた。
- 30 「僕の聞いたところでは」

使用コーパス

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』

参考文献

- 市川保子（2018）『日本語類義表現と使い方のポイントー表現意図から考えるー』スリーエーネットワーク
- グループ・ジャマシイ（編）（2023）『日本語文型辞典 改訂版』くろしお出版
- スリーエーネットワーク（編）（2013）『みんなの日本語初級Ⅱ第 2 版 本冊』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（編）（2016）『みんなの日本語初級Ⅱ第 2 版 教え方の手引き』スリーエーネットワーク
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター（編）（2010）『初級日本語 新装改訂版（下）』凡人社
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター（編）（2017）『大学の日本語初級 ともだち Vol.2』東京外国語大学出版会
- 文化外国語専門学校（編）（2000）『新文化初級日本語Ⅰ』凡人社
- 文化外国語専門学校（編）（2000）『新文化初級日本語Ⅰ 教師用指導手引き書』凡人社